

令和8年度 学校「学ぶ力」育成プログラム

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

学校番号：33012

「学ぶ力」	
成果	課題
<p>◇協働的な学びに関する活動について、肯定的な回答をしている生徒はほぼ85%を超えて非常に高く、小グループでの学習活動の効果が表れていると考えられる。</p> <p>◇振り返りに関する活動について、肯定的な回答をしている生徒は8割を超えており、学習した内容について振り返りを行って、次の学習に繋げることや、授業で学んだことをほかの学習に生かすことができていると考えられる。</p>	<p>◇「1日の時間の使い方を自分で考えて生活している」や「自分で計画を立てて勉強している」の項目について肯定的な回答をしている生徒が6割以下と少なく、生徒が見通しを立てて学習できる環境作りや、各教科での取組が必要である。</p> <p>◇「自分の意見を進んで発言しようとしている」の項目について肯定的な回答をしている生徒がやや少なく7割を下回っており、自らの意見を自信をもって発表する授業環境を整えることが必要である。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p>	
<p>◇札幌市の共通指標の「自分が必要とされていると感じる」の項目について、肯定的な回答の割合が昨年よりも高くなってはいるが、7割程度となっている。「人のよいところを見つけようとしている」「人の意見を聞いて、それを参考にして自分の考えを見直すことがある」などの項目については肯定的な回答が昨年よりもさらに高くなって95%を超えていることから、今後も学級、学年間での交流において相互評価などで自分の自信をもてる場を多く設定していくことが重要となる。</p>	

「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力

基礎・基本の定着に向けて自ら積極的に学ぶ力

	課題探究的な学習の推進 に向けて	自治的な活動の充実 に向けて
取組	<p>(1) 生徒が興味を持てるような身近な題材を使用した課題設定や、生徒自身が課題を設定できるような「イントロダクション」を意識する。</p> <p>(2) ICTを活用し、具体的なイメージを持てるようにし、「個別探究」の質を高める。</p> <p>(3) 小グループでの「協働探究」を通して、お互いに意見を交流する場面を設定し、自らの意見に自信を持てるような環境を整える。</p> <p>(4) 各課題での「リフレクション」を積み重ねていき、1年間の成長を可視化することで、次の学習への意欲や期待を高める。</p>	<p>①行事を通した学級活動の充実 ⇒生徒が自ら計画し、活動の成果を発表する機会を設定する ⇒学級内、学級間で相互に評価する場を多く設定する</p> <p>②【生徒会の取組】○絆作りメッセージ ○学校祭のテーマとの関連付け ○さっぽろっ子サミットに関する取組</p>
<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</p>		
<p>◇共同編集ツール等の意見集約アプリを日常的に活用し、全員が同時に意見を書き込める環境を整えることにより、挙手が苦手な生徒も主体的に考えを発信でき、自分の意見に自信をもてる授業環境を作る。また、オンライン上でスライド等を共有し合い、多面的な相互評価ができる場を多く設定することで、コメント機能を介して「人のよいところ」を認め合う活動を促し、互いの自信へと繋げ、協働を通した「相互承認の感度」を磨く。</p>		

<本プログラムの実行に向けて>

